

スコアシートの記入について

1. ゲーム前に記入

- ① 大会名
- ② コート、試合番号、西暦で 年 月 日
- ③ 会場名 ()内に都道府県名
- ④ エントリー用紙によりチーム名、監督、副監督の氏名及びプレーヤー番号と氏名を記入しマネジャーはMを、キャプテンは背番号の数字をそれぞれ(○)印で囲む
- ⑤ 対戦チーム名
- ⑥ 線審員の氏名

2. ジャンケンの後

- ⑦ 対戦チーム名 ⑤ の()内にAまたはBを記入する
※ 記録席から見て 左のコートをA、右のコートをBとする
- ⑧ サービス権を得たチームのサービス欄のAまたはBを(○)で囲む
- ⑨ 両チームのキャプテン、監督のサインを採録する
- ⑩ チームより提出されたサービスオーダを第1セットのプレーヤーナンバー欄の左上に記入する
- ⑪ 交代プレーヤーは、S欄の上段に記載する
[サービスオーダーのプレーヤーナンバーが正しくエントリーされているか、エントリー用紙より記入されたプレーヤーナンバーと照合する]

3. ゲーム中

- ⑫ 主審のプレーボールの吹笛時間を最上段の開始欄に記入する 終了は⑳へ
- ⑬ 第2、3セット開始は前のセット終了時刻の2分後を記入する
- ⑭ サービス順のチェック欄の数字を(✓)でチェックする
- ⑮ 得点の都度、得点欄の数字を斜線で消す
[サービス権移行の記入例 (別紙スコアシートによる)
・Aチームのサービス権でゲーム開始 …… Aチームサーバーの3番のサービス順
・チェック欄の1に(✓)をする …… Bチームが最初のラリーを勝つ
Bチームの得点欄の1を斜線で消す → Aチームの3番のサービス順チェック欄にAチームの総得点0を記入 → Bチーム4番のサービスのチェック欄の1に(✓)をする]
- ⑯ サービスオーダ違反のプレーヤーが得た点数の取消は 縦線で消す
その取り消した点数を後で得たときは、逆の斜め線(＼)で消す
- ⑰ サービスオーダ違反の反則によって相手チームに与えられた得点は(○)で囲む
- ⑱ サービスオーダ違反の反則は左下記入欄にわかりやすい文章で記入する

- ⑲ タイムアウトの要求は 下欄のT1、T2 に(○)印をする
 ※プレーヤー交代について
 コートに入ったプレーヤーとベンチに退いたプレーヤーそれぞれの番号を斜線で消しプレーヤー
 ナンバー欄の左下、右上、右下の順にコートに入ったプレーヤーナンバーを記入する
- ⑳ ベンチに退いたプレーヤーナンバーはS欄の下段左側から記入する
- ㉑ 特例としてのプレーヤー交代をしたときはコートに入ったプレーヤー番号を(○)で囲む
- ㉒ またベンチに退いたプレーヤー番号は次セットのS欄には記入しない
 [2セット目に特例で交代したBチームの8番は3セット目には記載しない]
- ㉓ 特例としてのプレーヤー交代の内容を左下記入欄に記載する
- ㉔ 主審がキャプテンに示した注意や警告を記載する
- ㉕ 主審が認めたメディカルタイムアウトや自然災害等の発生によるテクニカルタイムアウトの内容を記載する
- ㉖ 主審のセット終了の吹笛時刻を最上段の終了時刻欄に記入する
- ㉗ セット終了の最終サーバーのチェック欄に最終得点を記入し、その得点を(○)で囲む
 次セットそのチームはレシービングチームとなる(次サービスチームのAまたはBを(○)で囲む)
 ※第2、3セット開始について
 前セット終了時のサービスオーダー順(前のセットから継続)を次セットプレーヤーナンバー欄に記入する
- ㉘ セット間に監督またはゲームキャプテンからプレーヤー交代の届け出があった場合、交代するそれぞれの
 プレーヤー番号を横二本線で消して余白に次セットの先発プレーヤー番号を記入する
 ※第3セットはBチームのプレーヤーナンバーを左右両方のB欄に記入する
- ㉙ コート交替時にはBチームの右側の得点欄の数字をそれまでの得点分だけ縦線で消し最終得点の
 下に横線を入れる(⊥)(BチームのS欄およびタイムアウト欄の記録も右側に転記する)

4. ゲーム終了

- ⑳ 主審のゲームセットの吹笛の時間を記入する
- ㉑ 両チームの得点欄の残りの数字をまとめて消す
- ㉒ ゲームの結果を記入する
- ㉓ 試合時刻を記入する
 ※1時間超えない場合は0時間とはせず 分数のみ記入する
- ㉔ 記録員欄にサインする
- ㉕ 副審、主審の順にチェックを受け、サインを採録する